

クォーツ・ウォッチ

時・分機能または時・分・秒機能

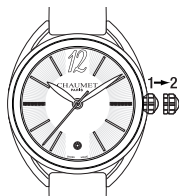
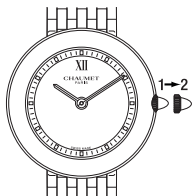
ポジション 1：通常の位置

リューズを緩めるとスプリングによりリューズが解放されポジション 1 になります。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リューズをポジション 2 まで引き出し、希望の時刻が表示されるまで回します。

操作の後は、必ずリューズをポジション 1 まで押し込んでください。ねじ込み式リューズの場合はその後、ポジション 0 までしっかりと締めてください。





クォーツ・ウォッチ (リューズレス)

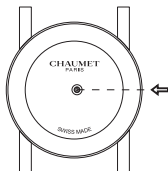
時・分機能

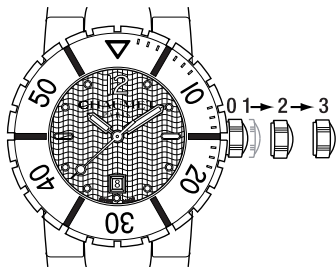
時刻の調整は、ケースの裏面あるいは横にあるプッシュボタンを押して行います。

プッシュボタンを**2秒以内**軽く1回押すと、1分進みます。

プッシュボタンを**2秒から4秒**、1回押すと、分を変えることなく1時間進めることができます。

プッシュボタンを**4秒以上**押し続けると、時計の針が進み続けます。針が希望する時刻に達したところでプッシュボタンを放すと、針は停止します。





クォーツ・ウォッチ (ねじ込み式リユース付き)

時・分および日付機能、
または時・分・秒および日付機能

ポジション 0：リユースはねじ込まれた位置*

時計のリユースがねじ込み式の場合、時計の防水性を確保する為リユースが正しくねじ込まれている必要があります (例：クラス・ワン)。

ポジション 1：通常の位置*

リユースを緩めるとスプリングによりリユースが解放されポジション 1になります。

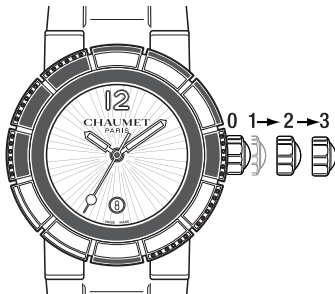
ポジション 2：日付の修正

日付を修正するには、リユースをポジション 2まで引き出し、反時計回りに回して希望の日付に合わせます。
ムーブメントを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

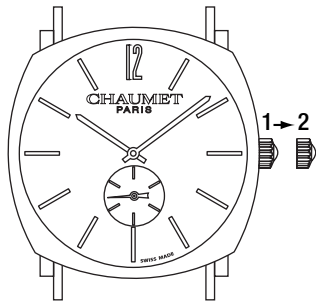
ポジション 3：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユースをポジション 3まで引き出し、希望の時刻が表示されるまで回します。

操作の後は、必ずリユースをポジション 1まで押し込んでください。ねじ込み式リユースの場合はその後、ポジション 0までしっかりと締めてください。



* モデルによる



手巻きムーブメント・ウォッチ

時・分・秒機能

この時計は手巻きムーブメントを搭載しています。リユースを時計回りに回し、ゼンマイを巻き上げてください。ゼンマイが完全に巻き上げられると、リユースをそれ以上回せなくなり、時計は十分なパワーリザーブを確保します。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

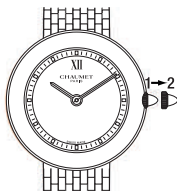
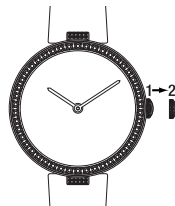
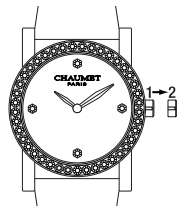
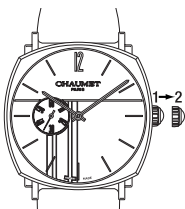
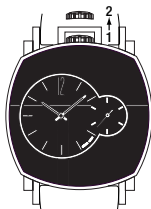
この位置でリユースを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

リユースが巻き止まるまで回したら巻き上げは完了します。ムーブメントを損傷するおそれがありますので、それ以上無理にリユースを回さないでください。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユースを**ポジション 2**まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリユースを**ポジション 1**まで押し込んでください。



自動巻きムーブメント・ウォッチ

時・分機能または時・分・秒機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。完全に巻き上げられると、時計は十分なパワーリザーブを確保します。着用していないと、パワーリザーブは消耗し、やがて時計は停止します。

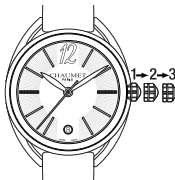
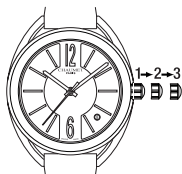
ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリューズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リューズをポジション 2 まで引き出し、針を反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリューズをポジション 1 まで押し込んでください。



自動巻きムーブメント・ウォッチ

時・分・秒および日付機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。完全に巻き上げられると、時計は十分なパワーリザーブを確保します。着用していないと、パワーリザーブは消耗し、やがて時計は停止します。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリューズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

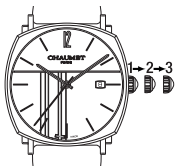
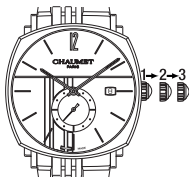
ポジション 2：日付の修正

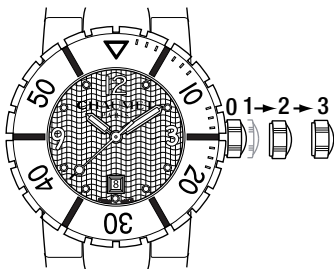
日付を修正するには、リューズを**ポジション 2**まで引き出し、反時計回りに回して希望の日付に合わせます。操作が終わったらリューズを**ポジション 1**まで押し込んでください。ムーブメントを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

ポジション 3：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リューズを**ポジション 3**まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリューズを**ポジション 1**まで押し込んでください。





自動巻きムーブメント・ウォッチ (ねじ込み式リユース付き)

時・分・秒および日付機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。完全に巻き上げられると、時計は十分なパワーリザーブを確保します。着用していないと、パワーリザーブは消耗し、やがて時計は停止します。

ポジション 0：リユースはねじ込まれた位置

お客様の時計にはねじ込み式リユースが装備されています。時計の防水性を確保する為、操作後、リユースを**ポジション 0**に正しくねじ込んでください。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

リユースを緩めると、スプリングによりリユースが解放され、**ポジション 1**になります。この位置でリユースを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：日付の修正

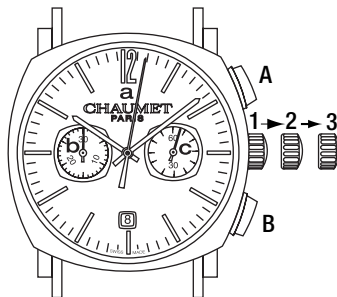
日付を修正するには、リユースを**ポジション 2**まで引き出し、反時計回りに回して希望の日付に合わせます。

ムーブメントを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

ポジション 3：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユースを**ポジション 3**まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後には、必ずリユースを**ポジション 1**まで押し込んでください。ねじ込み式リユースの場合はその後、**ポジション 0**までしっかりと締めてください。



自動巻きクロノグラフ

時・分・秒および日付機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。時計を着用していなくても、ゼンマイを完全に巻き上げるとおよそ42時間のパワーリザーブが確保されます（クロノグラフが発動されない場合）。

針 **a** は、クロノグラフの秒を示します。針 **b** は、クロノグラフの分を示します。針 **c** は、ムーブメントの秒を示します。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリユーズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：日付の修正

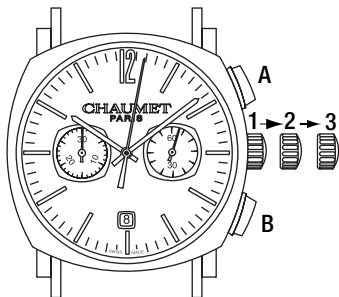
日付を修正するには、リユーズを**ポジション 2**まで引き出し、反時計回りに回して希望の日付に合わせます。

ムーブメントを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

ポジション 3：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユーズを**ポジション 3**まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリユーズを**ポジション 1**まで押し込んでください。



クロノグラフの操作方法

時間測定を始める前に、クロノグラフの針がすべてゼロにリセットされている必要があります。必要に応じて、**プッシュボタン B**を押してリセットを行ってください。

スタート：

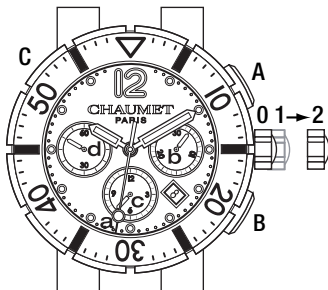
プッシュボタン Aを押すとストップウォッチ機能がスタートします。

ストップ：

もう一度**プッシュボタン A**を押すとストップウォッチ機能が停止し、経過時間を読み取ることができます。**プッシュボタン A**で、時間測定の開始／停止が何回でも行えます。測定時間は加算されます。

ゼロ設定：

- **プッシュボタン A**を押して時間測定を停止します。
- 次に**プッシュボタン B**を押すとクロノグラフがゼロにリセットされます。



自動巻きクロノグラフ(ねじ込み式リユース付き)

時・分・秒および日付機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。ゼンマイを完全に巻き上げるとおよそ48時間のパワーリザーブが確保されます(クロノグラフが発動されない場合)。

針 **a** は、クロノグラフの秒を示します。針 **b** は、クロノグラフの分を示します。針 **c** は、クロノグラフの時を示します。針 **d** は、ムーブメントの秒を示します。

ポジション 0：リユースはねじ込まれた位置

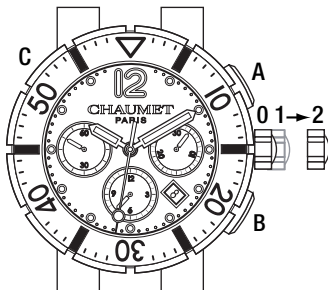
お客様の時計にはねじ込み式リユースが装備されています。時計の防水性を確保する為、操作後、リユースを**ポジション 0** に正しくねじ込んでください。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

リユースを緩めるとスプリングによりリユースが解放され**ポジション 1** になります。この位置でリユースを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユースを**ポジション 2** まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。



プッシュボタン C：日付の修正

日付を修正するには、時計の付属のツールで、ケース側面の**プッシュボタン C**を押します。1回押すと、日付が1日(31日ベース)変わります。

ムーブメントを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

操作の後は、必ずリユースを**ポジション 1**まで押し込んでください。ねじ込み式リユースの場合はその後、**ポジション 0**までしっかりと締めてください。リユースを時計回りの方向に回しながら押し込んでください。

クロノグラフの操作方法

時間測定を始める前に、クロノグラフの針がすべてゼロにリセットされている必要があります。必要に応じて、**プッシュボタン B**を押してリセットを行ってください。

スタート：

プッシュボタン Aを押すとストップウォッチ機能がスタートします。

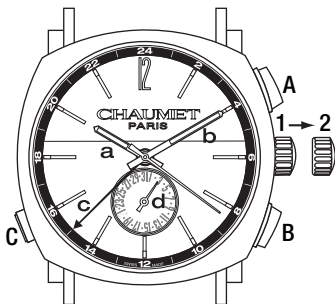
ストップ：

もう一度**プッシュボタン A**を押すとストップウォッチ機能が停止し、経過時間を読み取ることができます。**プッシュボタン A**で、時間測定の開始/停止が何回でも行えます。測定時間は加算されます。

ゼロ設定：

- **プッシュボタン A**を押して時間測定を停止します。

- 次に**プッシュボタン B**を押すとクロノグラフがゼロにリセットされます。



自動巻きGMTウォッチ

時・分・秒、セカンドタイムゾーン、日付機能

お客様の時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。時計を着用していても、ゼンマイを完全に巻き上げるとおよそ42時間のパワーリザーブが確保されます。

針 **a** (時) と針 **b** (分) は、ダイヤルの内側にある12時間表示目盛で、現地時刻を示します。

針 **c** は、外側 (インナーベゼル上) にある24時間表示目盛で、標準時刻 (または GMT) を示します。

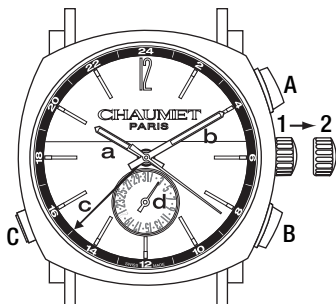
針 **d** は、日付 (31日ベース) を示します。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリューズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

日付の修正 (針 **d**)

日付を修正するには、**プッシュボタン C** を使用します。1回押すと、日付が1日変わります。ムーブメントを損傷するおそれがありますので、午後11時から午前1時の間はこのプッシュボタンを押さないようご注意ください。



セカンドタイムゾーンの時刻合わせ

針 **a** を調整するには、プッシュボタン **A** と **B** を使用します。
針 **b** を調整するには、引き出されているリユースを使用します。
プッシュボタン **A** を1回押すと1時間進み、プッシュボタン **B** を1回押すと1時間戻ります。

時計の初期設定：時刻合わせと日付の修正

時刻を合わせるには、リユースを**ポジション 2**まで引き出し、針 **c** が02時00分(24時間表示)を指すように、リユースを時計回りに回します。針 **a**、**b**、**c** が回ります。

日付(針 **d**)が変わるまでプッシュボタン **A** を押すと、時計が0時00分を示します。

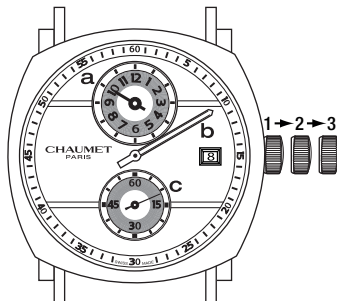
時計針 **a** が午前02時00分(12時間表示)を指すように、プッシュボタン **A** をさらに2回押します。

続いて希望の日付(針 **d**)が表示されるまで、プッシュボタン **C** を押します。

ポジション 2の位置にあるリユースを、希望の標準時刻(針 **c**)が表示されるまで、時計回りに回します。

12時間表示の現地時刻(針 **a** と **b**)と24時間表示の標準時刻(針 **c**)が同じになります。

操作の後は、必ずリユースを**ポジション 1**まで押し込んでください。



自動巻きレギュレーター・ウォッチ

時・分・秒および日付機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。時計を着用していなくても、ゼンマイを完全に巻き上げるとおよそ42時間のパワーリザーブが確保されます。針 **a** は時間、針 **b** は分、針 **c** は秒を示します。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

ポジション 1 でリュースを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：日付の修正

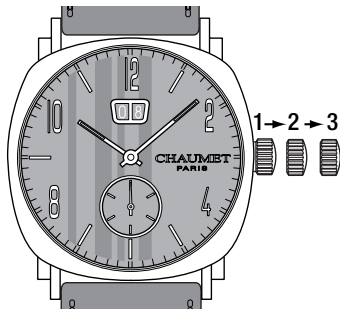
日付を修正するには、リュースを**ポジション 2** まで引き出し、希望の日付が表示されるまで時計回りに回します。その後、リュースを**ポジション 1** まで押し込んでください。

メカニズムを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

ポジション 3：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リュースを**ポジション 3** まで引き出し、時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリュースを**ポジション 1** まで押し込んでください。



自動巻きムーブメント・ウォッチ (ビッグデイト)

時・分・秒および日付機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。ゼンマイを完全に巻き上げるとおよそ42時間のパワーリザーブが確保されます。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリューズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：日付の修正

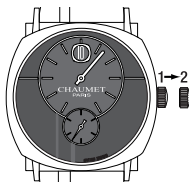
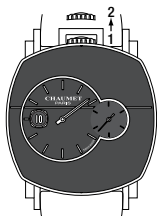
ビッグデイトを修正するには、リューズを**ポジション 2**まで引き出し、希望の日付の2つの数字が表示されるまで反時計回りに回します。

ムーブメントを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

ポジション 3：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リューズを**ポジション 3**まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリューズを**ポジション 1**まで押し込んでください。



自動巻きムーブメント・ウォッチ (ジャンピングアワー)

時・分・秒機能

この時計は自動巻きムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。

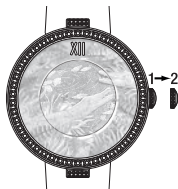
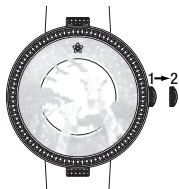
ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリューズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リューズをポジション 2 まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリューズをポジション 1 まで押し込んでください。





手巻きムーブメント・ウォッチ (パワーリザーブ表示付き)

時・分・秒・日付およびパワーリザーブ表示機能

この時計は手巻きムーブメントを搭載しています。毎日、リユースを時計周りに回し、ゼンマイを巻き上げてください。ゼンマイが完全に巻き上げられるとリユースをそれ以上回せなくなります。完全に巻き上げられた場合のパワーリザーブはおおよそ50時間、このパワーリザーブの残量は12時と3時位置の間に配置された窓に表示されます。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリユースを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

リユースが巻き止まるまで回したら巻き上げは完了します。ムーブメントを損傷するおそれがありますので、それ以上無理にリユースを回さないでください。

ポジション 2：日付の修正

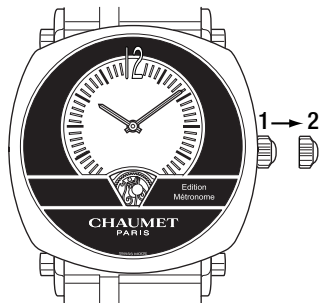
日付を修正するには、リユースを**ポジション 2**まで引き出し、時計回りに回して希望の日付に合わせます。

メカニズムを損傷するおそれがありますので、午後8時から午前4時の間は日付の修正を行わないでください。

ポジション 3：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユースを**ポジション 3**まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリユースを**ポジション 1**まで押し込んでください。



手巻きムーブメント・ウォッチ (メトロノーム式スモールセコンド付き)

時・分・メトロノーム式スモールセコンド機能

この時計は手巻きムーブメントを搭載しています。毎日、リユーズを時計周りに回し、ゼンマイを巻き上げてください。ゼンマイが完全に巻き上げられるとリユーズをそれ以上回せなくなります。完全に巻き上げられた場合のパワーリザーブはおよそ32時間です。

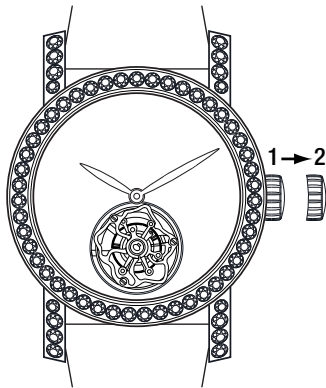
ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置でリユーズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユーズを**ポジション 2**まで引き出し、時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリユーズを**ポジション 1**まで押し込んでください。



手巻きトゥールビヨン・ウォッチ

時・分機能

この時計は手巻きトゥールビヨンムーブメントを搭載しています。5日ごとに、リユーズを時計回りに回し、ゼンマイを巻き上げてください。ゼンマイが完全に巻き上げられるとリユーズをそれ以上回せなくなります。完全に巻き上げられた場合のパワーリザーブはおよそ100時間です。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

ポジション 1 でリユーズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

リユーズが巻き止まるまで回したら巻き上げは完了します。メカニズムを損傷するおそれがありますので、それ以上無理にリユーズを回さないでください。

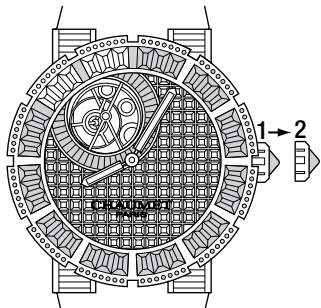
ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユーズをポジション 2 まで引き出し、反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

時計の始動

時計を初めて始動させる際は、リユーズを抵抗を感じるまで巻き上げてください。時計はこれで完全に巻き上げられます。

操作の後は、必ずリユーズをポジション 1 まで押し込んでください。



自動巻きトゥールビヨン・ウォッチ

時・分機能

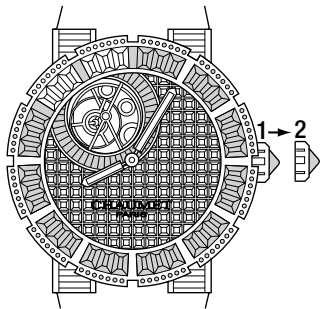
この時計は自動巻きトゥールビヨンムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。時計を着用していなくても、ゼンマイを完全に巻き上げるとおよそ55時間のパワーリザーブが確保されます。

ポジション 1：手動によるムーブメントの巻き上げ

リューズを時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

時計の始動

時計を初めて始動させる際は、リューズを少なくとも25回ほど回します。時計はこれで完全に巻き上げられます。



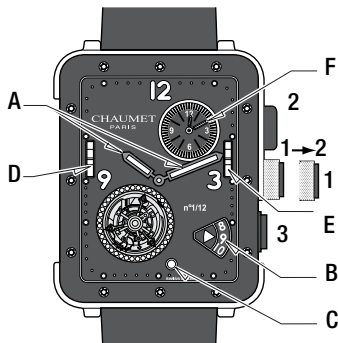
時計の停止

時計を正常に機能させるには、ある程度の期間、1日に少なくとも12時間着用している必要があります。あまり着用しないでいると、時計は停止してしまいます。この場合は、リユースを少なくとも25回ほど回して時計の巻き上げを行ってください。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リユースを**ポジション 2**まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

操作の後は、必ずリユースを**ポジション 1**まで押し込んでください。



- 1 - 巻き上げおよび時刻合わせ用リユース
- 2 - クロノグラフ用プッシュボタン
- 3 - セカンドタイムゾーンの時刻合わせ用プッシュボタン

- A - 時計および分針
- B - セカンドタイムゾーン表示
- C - セカンドタイムゾーンのデイ/ナイト表示
- D - パワーリザーブ表示
- E - 「トラストインデックス」による最適な作動状態の表示
- F - シングルプッシュボタン フライバッククロノグラフのモノカウンター (時、分)

手巻きトゥールビヨン・クロノグラフ

この時計は手巻きトゥールビヨン・ムーブメントを搭載しています。毎日、リユースを時計周りに回し、ゼンマイを巻き上げてください。ゼンマイが完全に巻き上げられるとリユースをそれ以上回せなくなります。完全に巻き上げられた場合のパワーリザーブはおよそ120時間です。

時計および分針 (A)

時間と分はセンターの針で表示されます。時刻を合わせるには、リユース 1 をポジション 2 まで引き出し、反時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

セカンドタイムゾーン表示 (B)

セカンドタイムゾーンの時刻はダイヤル右下の窓に表示されます。時刻を合わせるには、プッシュボタン 3 を使用します。1 回押すと、時刻が1時間進みます。

セカンドタイムゾーンのデイ/ナイト表示 (C)

デイ/ナイトまたはAM/PMは窓の中の2つのカラー(ホワイトおよびブラック)の組み合わせで表示されます。

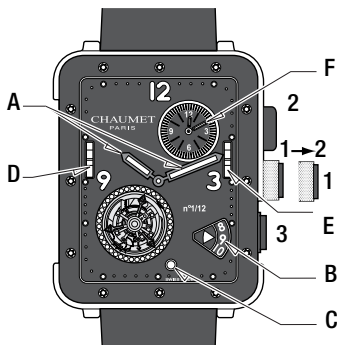
パワーリザーブおよび最適な作動状態の表示 (DおよびE)

パワーリザーブのレベル (D) と最適な作動状態の指標 (E) は、直線的に上から下へ動く針を備えた、垂直方向に読み取る「トラストインデックス」により表示されます。このバー状のインジケーターはまさに技術的な偉業です。

パワーリザーブ表示 (D)

パワーリザーブ表示により、主ゼンマイに蓄えられているエネルギーの量を知ることができます。つまり、この表示は巻き上げを行わないであと何時間、時計が作動するかを視覚的に示します。

操作の後には、必ずリユース 1 をポジション 1 まで押し込んでください。



最適な作動状態または「トラストインデックス」の表示(E)

パワーリザーブ表示を補完する最適な作動状態の表示は、主ゼンマイに蓄えられたエネルギーの「クオリティ」のレベル、特にその恒常性を視覚化します。この表示は主ゼンマイから供給されるトルクをリアルタイムで表示します。

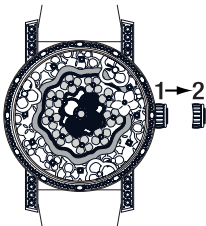
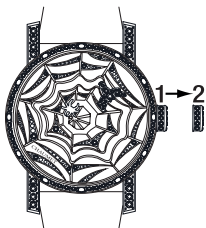
針がホワイトのゾーンにある場合、主ゼンマイは張力過剰でも張力不足でもなく、エネルギーのリリースは直線的に行われています。この状態であると日差わずか±10秒というきわめて高い精度が保証されます。

針が下のレッドのゾーンにある場合、主ゼンマイは張力不足で、時計の精度は日差18～30秒のレベルになっていますので、最適な作動状態に戻すには、あらかじめ巻き上げを行う必要があります。トラストインデックスは巻き上げ過ぎにより、ムーブメントにエネルギーが過剰に蓄積されていることも表示します。この場合、針は下のレッドのゾーン(張力過剰のゾーン)にあります。しかしムーブメントはエネルギーの過剰な蓄積を制御できるように設計されているので、精度のレベルは最適のままです。

シングルプッシュボタン フライバッククロノグラフのモノカウンター(F)

クロノグラフの時間と分は同一のカウンター(F)の針で表示されます。針は常時、回転しています。時間測定を行うには、**プッシュボタン2**を押してクロノグラフをリセットします。クロノグラフの時針と分針は12時位置に戻り、瞬時に再スタートします。もう一度**プッシュボタン2**を押すとストップウォッチ機能が停止し、経過時間を読み取ることができます。

この機能はまた時計の時針と分針が12h00(午前零時または正午)を指すと同時にクロノグラフの針をリセットすれば、3番目のタイムゾーン表示としてもお使いいただけます。



自動巻きクリエイティブ・コンプリケーション・ウォッチ

時・分機能

この時計は自動巻きクリエイティブ・コンプリケーション・ムーブメントを搭載しています。手首の動きによりローターが回転してゼンマイを巻き上げ、ムーブメントが作動する仕組みになっています。時計を着用していなくても、ゼンマイを完全に巻き上げるとおよそ36時間のパワーリザーブが確保されます。

ポジション 1：通常位置、および手動によるムーブメントの巻き上げ

この位置（ポジション 1）でリューズを反時計回りに回すと、手動でゼンマイを巻き上げることができます。

リューズが巻き止まるまで回したら巻き上げは完了します。メカニズムを損傷するおそれがありますので、それ以上無理にリューズを回さないでください。

ポジション 2：時刻合わせ

時刻を合わせるには、リューズをポジション 2 まで引き出し、針を時計回りに回して希望の時刻に合わせます。

時計の始動

時計を初めて始動させる際は、リューズを少なくとも 25 回ほど回します。時計はこれで完全に巻き上げられます。

操作の後は、必ずリューズをポジション 1 まで押し込んでください。